

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和5年2月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670800244
法人名	特定非営利活動法人NPOみなまた
事業所名	グループホーム 三郎の家
所在地	鹿児島県出水市住吉町6番18号 (電話)0996-65-7740
自己評価作成日	令和5年1月17日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和5年2月18日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本事業所は国道三号線から名護港方面に向かう途中の、海の入江に面した場所にあるグループホームです。土地の提供者の三郎さんへの信頼と感謝の意を込めて「三郎の家」とつけられました。

利用者様の日常生活の面では出来る限り残存能力を活かし、安心・安全はもちろん、少しでも笑顔で過ごせるよう支援に努めています。また、利用者様と職員同士でもお互いに「ありがとう」と言い合える良い関係性づくりも大切にしています。

職員に関しては無資格・未経験であっても働きやすい環境づくりを心掛けています。有資格者に関しては資格を取った事に満足せず、これからどうケアに活かすかを考える事が大切だと感じています。

ここ数年新型コロナウイルスの影響で面会制限を設け行事等もあまり出来ず、利用者様やご家族の方達はあまり満足がいかない状況になっているかもしれませんが、厳しい職員数の中職員全員で協力し合い、今の所利用者様にコロナ陽性者は出ていない状況でもあります。

勤務体制が厳しい中、今年度事業所としては初めて看取りも行いました。この経験を活かし、今後も職員全員で頑張っていこうと思います。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・母体は水俣病に関するNPO法人である。グループホーム事業所は水俣市に2ヶ所と出水市の「三郎の家」がある。
- ・当事業所は、リビングから海が見え、日当たりもよく明るい。
- ・管理者は職員の経験を重視し、資格を活かしてケアに活用するよう努めている。再雇用の職員もあり、働きやすく職員間の関係は良好で、労働環境の向上に努め、退職金共済制度にも加入している。
- ・コロナ禍で、面会も窓越しで行い、行事や外出も自粛しているため、ライン動画で利用者の日常生活を家族に送り喜ばれている。
- ・初めて看取りを経験し、今後職員全員で良き看取り支援ができるように研鑽している。
- ・例年は年1回消防署立ち合いの下、1回は自主訓練を火災・地震について避難訓練を実施していたが、コロナ禍で2回とも自主訓練となった。スプリンクラーや火災報知機も整備し避難経路や避難場所の確認も行っている。緊急連絡通報もある。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝の申し送り時に三郎の理念である「人権・安心・共生」を職員全員で唱和する事で、理念を共有し実践へとつなげている。	理念は、パンフレットに掲載し玄関口や廊下に掲示し、朝の申し送り時に全員で唱和している。入職時に理念について研修を行っている。外部評価項目に沿って理念を職員で話し合い目標達成項目に繋げたり、年1回の自己評価で振り返り支援に活かしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近年は新型コロナウイルスの影響で、以前から行われていた地域の行事等には参加出来ない。自治会への加入、月番の役割、リサイクル当番には継続して参加している。	自治会に加入し、地域の情報は、回覧板で把握している。コロナ禍で地域行事は自粛し、リサイクルの収集には参加している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近年は新型コロナウイルスの影響で、以前のように地域の方へ認知症について発信する事は控えている。ご家族から質問があった際には答えてはいる。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナウイルスの影響で書面での報告のみとしているが、「ご意見・ご助言」を書面にてもらい、サービスの向上に活かしている。	運営推進会議はコロナ禍で、2ヶ月に1回、文書会議としている。利用者状況・サービス内容・課題・外部評価の報告等を文書にして各委員や関係者に持参し、意見等は持参した時や電話で聞き取って運営に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>以前はカフェでも取り組みを伝えていたが、近年は新型コロナウイルスの影響でカフェへの参加も控えている。分からない事があればその都度役所等へ連絡し、アドバイスをもらっている。</p>	<p>コロナ禍で、書類申請は窓口に出向くが、相談や質問は電話で行い提案や方法について意見をもらっている。生活保護関係の連絡も密に行い、身寄りのない場合の成年後見の申し立てをしている。研修会はオンラインで参加している。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>当法人では年に2回身体拘束についての研修を行っている。玄関の施錠については職員が少ない日は施錠する事があるが、その他身体拘束は行っていない。</p>	<p>年2回、法人全体の研修を実施している。施設でも毎月のミーティングでヒヤリハット等について話し合いをしている。昼間は玄関の施錠はしていない。外出希望者は職員が同行し、散歩を行っている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>毎年当法人にて虐待についての研修を行っている。虐待については様々なものがあるので、どのようなものが虐待に当たるのかをきちんと把握して防止に努めたい。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>当法人で研修を行ってはいる。身寄りのない方もおり、成年後見制度については役所の方にアドバイスをもらい現在申請中の方もいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入居の際に時間を設けて説明を行っている。入居後しばらくしてから質問をされることもあるので、その際は再度説明をし納得されている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>以前は1年に1回家族会を開き、ご家族同士でも意見交換できる場を設けていたが、新型コロナウイルスの影響で家族会も開けていない。面会や連絡する際に質問等がないか伺うようにしている。</p>	<p>利用者からは日常の会話の中からタイミングをみて思いを聞いている。家族からは、窓越し面会時や電話・メール・ラインで意見を聞いて運営に活かしている。ライン動画で日常の写真を家族に送り喜ばれている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングだけではなく、普段から何かあれば職員から意見をもらっている。提案や意見等は相手が言いやすい雰囲気を作る事が大切だと感じている。</p>	<p>職員間のコミュニケーションを大切にしながら気軽に意見や相談ができる環境作りに管理者は努めている。毎月のミーティングで職員の意見を聞いている。年1回職員全体会議で全職員の意見も把握できている。退職金共済制度を導入したり、風呂場の改修要望や資格取得時に支援の要望があり、検討している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>処遇面は年々改善されていると感じる。各職員の状況は会議等の際に評価も兼ねて報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>各職員の力量は把握出来ている。近年は新型コロナウイルスの影響で外部の研修等への参加は控えているが、法人内の研修は行っている。今後はリモートでの研修への参加を促したい。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で交流会への参加は控えている。リモートで交流する機会があれば参加したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>サマリー等の情報を入居時にいただいているが、状況が違ってくるが多く感じる。本人様に聞きながら、自分達で情報収集し安心の確保に努める事が大切だと感じている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>新型コロナウイルスの対策をしながら、可能であれば入居前に見学してもらい、その際ご家族にも話を伺うようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要な支援の見極めは特に重要だと感じる。新型コロナウイルスの感染対策もあるので、他のサービスとの併用は慎重に行いたい。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>出来ない事より出来る事を大切にし、お手伝いの際には感謝の気持ちをその都度伝えている。お互いに「ありがとう」と言い合える関係性が大切だと感じる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で面会の回数は減ったが、メールや電話で近況報告を行っている。ご家族からは意見を言いやすい環境づくりをと思っている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルス対策として現在も面会には条件を付けている。周囲の方も面会を控えているとの話も伺った。制限が緩和すれば以前のような関係性を継続できるように支援したい。</p>	<p>幼な馴染みの友達が来所していたがコロナ禍で来れていない。家族とは窓越し面会やリモート・電話で話をしている。ドライブを兼ねて自宅へ行き降りないで車の中からの面会をしている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者様同士の関係性は把握している。トラブルになりそうな時は早めに職員が介入し、関係性を継続できるよう支援に努めている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>新型コロナウイルス対策として、サービス終了後に直接お会いする機会はほとんどないが、相談等があれば対応したい。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	事前にご家族やそれまで関わってきた方のアドバイスを参考に思いや意向の把握に努めており、入居後は本人様の言動からも気持ちをとり組むように努めている。	日常生活の中で、入浴時などに冗談を言いながら思いを聞いたりしている。困難な利用者には顔色や表情・態度を観察したり、家族からも機会があるたびに思いを聞いて支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	サマリーやご家族の話を参考に、これまでの経過等の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	血圧等の数値だけを見るのではなくいつもと違う言動はないかを観察し、その方の現状把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご家族やこれまで関わってきた方からの情報を元に、職員間でケアに活かしている。毎月のモニタリングでは職員間で意見を出し合い、現状に見合った介護計画を提供出来るように努めている。	本人・家族・関わってきた関係者と話し合い担当者会議で主治医の意見を入れて介護計画を作成している。毎月カンファレンスで気づきを話し合い、モニタリングは入所初回は3ヶ月後に、モニタリングと見直しは6ヶ月毎や更新時、必要時に見直し、現状に即した介護計画である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の記録は今後活かせるよう細かく記載している。ミーティングでもそれらを元に話し合い、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	医療ニーズが高くなる方とはご家族の意向も含め、話し合いをしている。本人様の気持ちを最優先に、その他のサービスも視野に入れた話し合いを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	以前は地域のサロンや行事にも参加していたが、近年は新型コロナウイルスの影響で参加を控えている。今後の課題である。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様やご家族の意向を聞きながら、希望される医療機関を受診するようにしている。	かかりつけ医は本人・家族の希望する医療機関である。月1回や2週間に1回の往診がある。他科受診は職員が同行し結果は家族に報告している。緊急時は管理者が対応している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>ほぼ毎日看護師・准看護師が勤務している。気になる事や気づきがあればすぐに相談し、必要性があれば医療機関を受診している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>病状説明等があれば可能な限り職員も同席させてもらっている。互いに情報交換し合い、早期退院できよう関係づくりに努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化や終末期の話は契約時に説明している。今年度、当事業所としては初めて看取りと、看取りをするために自宅に移られるまでのケアを行った。ご家族とも十分話し、医療機関にも協力を得て最後まで立ち会わせていただいた。今後のケアにこの経験を活かしたい。</p>	<p>重度化や終末期の対応について、契約時に説明し同意書ももらっている。状態変化に伴い段階的に主治医から家族に説明して方向性を検討し、家族の意向を確認して支援している。看取り介護の同意書を作成し、看取りと、見取りをするために自宅に移られるまでのケアを行った。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>これまでは毎年行う法人研修で心肺蘇生法の実技訓練を行っていたが、近年は新型コロナウイルスの影響で訓練は行えていない。現在は自施設での急変時の取り決めを元に備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災想定避難訓練は年に2回は自主訓練を行っている。今後は水害時の対策も含めBCPも早期に取り組んでいきたい。</p>	<p>例年は年1回消防署立ち合いの下、1回は自主訓練を火災・地震について避難訓練を実施していたが、コロナ禍で2回とも自主訓練となった。スプリンクラーや火災報知機も整備し避難経路や避難場所の確認も行っている。緊急連絡通報は自治会長が参加し、地域放送で「火災訓練をします」と訓練時は放送している。備蓄は水・非常食・インスタントラーメン・乾パン等を備えている。発電機やカセットコンロ・懐中電灯もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	周囲の方がいる場合の声掛けは特に気を付けている。1人ひとりに合わせて、その方が理解しやすい言葉や表現で対応するよう心掛けている。	必要時に勉強会を実施している。呼称はさん付け、排泄・入浴・入室時の声掛けはプライバシーや羞恥心に配慮している。申し送りはリビングで、名前はイニシャルで行っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員主体で決めず、開かれた質問をし自己決定の場を増やせるよう心掛けている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自施設でのおおよその1日の流れはあるが、その方の体調等を聞きながら、少しでも希望にそえられるように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	自立されている方には出来る所までやっていただき、不十分な所があれば職員がさりげなくお手伝いさせてもらっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	1人ひとりに合わせて味の濃さを調整したり、食事形態も調整して提供している。出来る方には片付けや食事の準備のお手伝いもしていただいている。	嗜好調査を行い食形態に配慮している。誕生会は利用者、ケーキを手づくりし、正月はおせちの盛り合わせ、敬老会は弁当を提供している。ゆで卵や食材の皮むき・台拭き・茶碗拭き等、力量に応じて一緒に行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	全員の食事・水分量を毎日把握し、必要に応じて食事形態も調整し支援に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	出来る方にはやってもらっているが、介助が必要な方には職員が出来る範囲で行っている。人によってはガーゼ等も用いて口腔内の清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	入居して間もない場合や退院後は排泄状況を特に細かく記録に残し、職員間で情報共有し1人ひとりに合わせた排泄の支援に努めている。	個々の排泄パターンを把握し、トイレでの排泄が基本としている。排泄用品も個々に応じたものを職員が話し合い使用している。時間ごとの誘導を行っている。しぐさなどでも判断している。必ず声かけして了解をもらい自立に向けた誘導をしている。失禁の利用者が改善された事例がある。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事や水分量、適度な活動性も取り入れ予防と対応に取り組んでいる。それでも排便困難であれば主治医や看護師へ相談し、下剤での調整も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	おおよその日程は施設側が決めているが、利用者様のその日の体調や希望があれば調整している。職員の体制次第では午前、午後と入浴の時間帯を変更して支援している。	週2回の入浴であるがその日の体調や気分で調整している。浴槽に入れない場合はかけ湯やシャワー浴を行っている。嫌がる利用者には無理強いしないようにして、気分を変えて入浴を楽しめるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間の安眠に対しては日中の活動性からアプローチしている。他の方への影響が出る時には内服薬の服用も検討する事がある。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各個人が何を服用しているかをいつでも閲覧出来るようにしている。処方の変更があった場合は特にいつもとの違いがないかを観察し、必要であれば主治医へ報告している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	1人ひとりの特徴を把握し、出来る事を無理のない範囲でお手伝いしていただいている。利用者様同士でも「ありがとう」と言い合える環境づくりを支援したい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>近年では新型コロナウイルスの対策として以前のような外出は控えている。密を避け、条件が良ければ近場へ行ったり、ご家族の元へのドライブ等は行っている。</p>	<p>コロナ禍で外出を自粛し、近隣の散歩をしている。通院の帰りはドライブで地域の風景を見たり季節を感じるようにしている。希望があれば戸外へ数名づつ外出支援を行っている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現金を管理されている方は現在1名のみ。新型コロナウイルスの対策で、買い物は職員のみで行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙でのやり取りは今の所ないのが現状。電話で話をされる事が時折あるが、職員がサポートしやすいようにスピーカーで会話していただいている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>人によって快・不快が大きく異なる。1人ひとりの特徴を把握し、聴覚・視覚からの刺激を考慮して居心地よく過ごしてもらえよう工夫している。</p>	<p>リビングから海が見え、日当たりもよく採光もあり明るい。光が強いところはカーテンで調整している。音や採光・室温・換気に配慮し、空気清浄機と加湿器の一体の物を使用している。室内に利用者の作品や季節の貼り絵が飾られ、利用者はソファでゆったりとくつろいで居心地よく暮らしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ある程度1人ひとりの居場所は決まっているが、時折居場所を巡ってトラブルになりそうな時がある。早めに職員が介入し、未然にトラブルを防げるように工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に本人様やご家族が希望されるものがあれば持ち込んでいただき、少しでも居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>居室は和室や洋室がある。部屋の広さは個々に違う。天窓のある部屋もある。ベッド・エアコン・箆笥が設置されている。個々にテレビや時計・寝具・家族写真・仏壇・イス・テーブル・ソファを持ち込み、自宅にいたときに近い環境で暮らしている。馴染みの物などを持ち込み落ち着ける部屋になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>残存能力を活かせるよう、1人ひとりに合わせて分かりやすい環境づくりを心掛け、安全で少しでも自立出来るよう工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
		○	3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない